

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年6月4日

事業者名: 岐阜日産自動車株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	岐阜日産では、「地域とともに持続可能な未来を築くこと」を使命と考え、電気自動車（EV）を活用した脱炭素社会の実現を重点的に推進しています。 2010年よりEVの本格販売を開始し、V2Hによる電気の地産地消や、再エネ100%「日産でんき」の取り扱いを開始、岐阜県内自治体と連携した「ブルースイッチ」活動を展開しています。 また、店舗のLED化、ペーパーレス化にも取り組み、事業活動全体で環境負荷低減を推進しています。		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑪住 み続けられるまちづくり を、⑬気候変動に具体的 な対策を	・岐阜県内8自治体と地域連 携協定を締結。 ・全店舗（45店舗）の事務所 内電気をLED化。 ・会議資料をペーパーレス化 しデジタルへ移行 →印刷関連費用を1096千円か ら907千円へ削減。	指標	C02排出量の削減
					目標	C02排出量前年比30%削減
社会	「地域とともに歩み、誰もが安心して暮らせる社会づくり」を目指し、地域貢献活動や次世代教育に取り組んでいます。 福祉車両や救急車など暮らしを支える車両の普及に加え、子ども向け環境学習「日産わくわくエコスクール」を県内各地で開催し、環境問題や次世代モビリティについて学ぶ機会を提供しています。 また、地域イベントや防災活動への参加を通じ、地域社会とのつながりを大切にしています。		③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育を みんなに、⑪住み続けら れるまちづくりを	・2025年11月8日 子ども職業 体験イベントを開催（参加者 24名） ・2025年12月19日 輪之内中 学校1年生96名を対象に環境 教育を実施 ・自治体主催イベントへ年間 11回参加	指標	環境対策・地域と連携したイベ ント等への参加及び発信
					目標	地域連携イベント及び情報発信を 年間12回以上実施する
経済	持続可能な企業経営の実現に向け、従業員一人ひとりが安心して働き続けられる職場環境づくりと人材育成を推進しています。 企業理念浸透活動や働き方改革、健康増進施策を通じて、社員同士が支え合い、成長し続けられる組織づくりに取り組んでいます		④質の高い教育をみんな に、③すべての人に健康 と福祉を、⑧働きがいも 経済成長も	・有給休暇取得状況を定期会議で共有し、 取得促進を実施（2025年度 有給休暇 取得率50.4%） ・月2回だった火曜定休を毎週火曜定休 へ変更 ・企業理念を策定し、管理者・役員向け 理念合宿を実施し全従業員への浸透を図 る ・社員の健康増進を目的としたウォーキ ングイベントを実施	指標	有給休暇取得率
					目標	2028年を有給休暇取得率60%目指す
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 日産は、EV活用による、社会の变革、地域課題の解決に取り組む日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を推進し、脱炭素社会・強靱なまちづくりに向けたさまざまなパートナーの皆様とともに取り組んでいます。 ・各担当部署の活動を、社内配信ツール（都度）や、定例会議で共有 ・専門知識を有する場合は、専門家を招き勉強会を開催（オンライン配信も行い誰もが視聴可） ・SDGs、脱炭素及びEV関連の情報（世界事情含む）は、社内配信ツールを使い、本部スタッフからリアルタイムに情報共有がされている				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ホームページにて対外的に公表している。 岐阜日産のクルマとともに未来へ！みんなの岐阜みらいPROJECT https://gifu-nissan-sdgs.jp/				